



2025年6月10日

各位

会社名 株式会社 i s p a c e
代表者名 代表取締役 CEO 袴田 武史
(コード番号：9348 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 野崎 順平
(TEL.03-6277-6451)

ミッション2に関するQ&A (6月10日時点)

当社は、Mission 2 “SMBCx HAKUTO-R VENTURE MOON” (以下、「ミッション2」という。) について、2025年6月6日にミッション2の終了をお知らせしておりますが、本件について投資家の皆様より多数のお問い合わせを頂戴しているため、6月10日時点における主なご質問とそのご回答について開示させていただきます。今後も、多くご質問を頂戴した事項については適宜、同様に開示をさせていただく予定です。

なお、ミッション2及び当社について、直接ご意見やご質問を頂戴する機会も準備させていただく予定であり、詳しくは本日開示済の[こちらの資料](#)をご確認ください。

記

- Q 株価の下落が著しい状況です。早急に株主の不安を解消するIRをお願いします。
- A 株価についてご不安をおかけし、申し訳ございません。ミッション2の詳細な原因究明にはもう暫くお時間を頂く必要がありますが、株主の皆様が持つご疑問、ご懸念を少しでも解消するためにも、6月11日及び6月13日の二回にわたり、当社経営陣がご意見やご質問にお答えするオンライン説明会を開催させていただきます。[こちらの資料](#)をご確認いただき、ご都合よろしければ是非ご参加ください。
- Q 今回の失敗原因を早く究明して、詳細を株主に提示してほしい。
- A ミッション2の失敗原因の究明は当社が迅速に実施すべき最優先事項として捉え、既に社内でのアクションが開始されており、なるべく早期に対外的な公表をしていくことを予定しております。原因究明が完了次第、適時開示や記者会見等で速やかに皆様にご報告いたしますので、今暫くお待ち下さいませ様、お願い申し上げます。
- Q ミッション2における着陸シーケンス※1の事前試験はどのようなものが実施されたか。
- A 地球対比約1/6の重力下である月面の環境を完全に地球上で再現し、ランダー全体の試験を実施することは困難であることから、現実的な手法としてハードウェア、ソフトウェアのそれぞれについて様々な試験検証を実施しました。特に着陸センサーについては、コンポーネント（ランダー部材）レベルでの振動試験、放射線試験に加えて、砂漠におけるドローン試

験や野外における計測試験など、運用条件を想定した地上での試験を実施しておりました。また着陸シーケンスの試験は、ソフトウェアの機能性能の網羅試験及びシステムに組み込んだ挙動を確認するための閉ループ試験※2 など、宇宙機開発で行われる総合的な試験を実施しており、またそれに基づいた運用訓練なども実施しておりました。なお、ミッション2の結果も踏まえ、事前試験内容の妥当性の再検討と改善についても現在実施中です。

Q ispace は第三者の知見を活用していないのか。例えば JAXA から SLIM の知見等は得られないのか。

A 当社は従前より、第三者機関からのご助言や技術支援については、可能な限り、広範に取得していく方針で開発を進めております。JAXA 様につきましては、今後は特に、ご助言や技術支援をより積極的に活用させて頂き、弊社のランダー開発の成熟度向上に活かしていくことを目指しており、JAXA 様にもご快諾を頂いております。

Q 次のミッション3が2027年打ち上げとのことだが、今後2年間、株価のカタリストが何も無いということであり、上昇を期待できない。

A ミッション3の打ち上げ自体は2027年予定ですが、それまでの間にも、開発の重要なマイルストーンの進捗は可能な限りリアルな画像等と共にお示ししていく予定です。また将来的なミッションの顧客となる予定の、各国宇宙機関や民間企業等との大型ペイロードサービスの契約なども、積極的に実現していきたいと考えております。実際に株価のカタリストになり得るかどうかを当社として現時点でお約束することはできませんが、ミッション打ち上げ以外の重要イベントについては可能な限り積極的に、適時適切に開示していくことを目指しております。

※1 着陸シーケンス：DOI（De-Orbit Insertion、月周回軌道から楕円軌道への投入）から最終着陸までの一連の流れを指します。

※2 閉ループ試験：ランダーに搭載しているものと相当の計算機システム（コンピュータ+ソフトウェア）を活用し、月の重力や月面環境を模したシミュレーション空間で、着陸センサーなどの挙動を模擬し、そのデータに基づきシミュレーション環境下でランダーの動きを変え、これを繰り返す（ループさせる）ことで、着陸シーケンスを試験することを指します。

以上